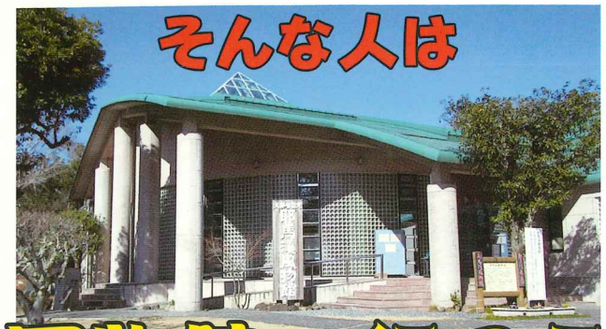
青の洞門周辺マップ

もっと知りたい

本耶馬渓町観光ボランティアガイドの会

青の洞門や禅海和尚のことを知りたい！



風物館へ行こう

場　所　道の駅耶馬トピア内
距　離　青の洞門から約1km 車で3分、歩いて10分
時　間　9:00～17:00
休館日　毎週木曜日
入館料　大人：100円　中学生以下：無料

本耶馬渓町へのアクセス方法



[JR特急]

博多－中津	ソニック80分
小倉－中津	ソニック30分
大分－中津	ソニック50分

[バス]

中津－本耶馬渓	30分

[車]

日田ICから	45分
玖珠ICから	40分
中津ICから	20分
北九州空港から	70分
大分空港から	90分
上毛SICから	20分

本耶馬渓町観光ボランティアガイドの会

お問い合わせ先
中津耶馬渓観光案内所
0979－23－4511

なぜ、禅海和尚は洞門を掘ったのか！

まず・・・

羅漢寺 仁王門



羅漢寺に参詣した禅海和尚がそこで耳にしたことは・・・・・
「多くの人々が川に落ちて溺れ死ぬ場所がある」

場所は・・・・

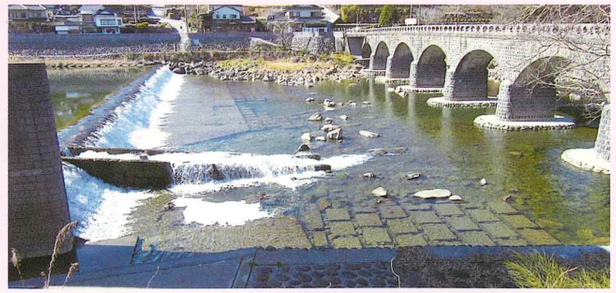
対岸から眺めた手彫り洞門の明かり取り窓



当時、難所「鎖渡し」と言われたこの場所で人や馬の尊い命がたびたび失われた。ではなぜ、ここを通らなければいけなかったのか。

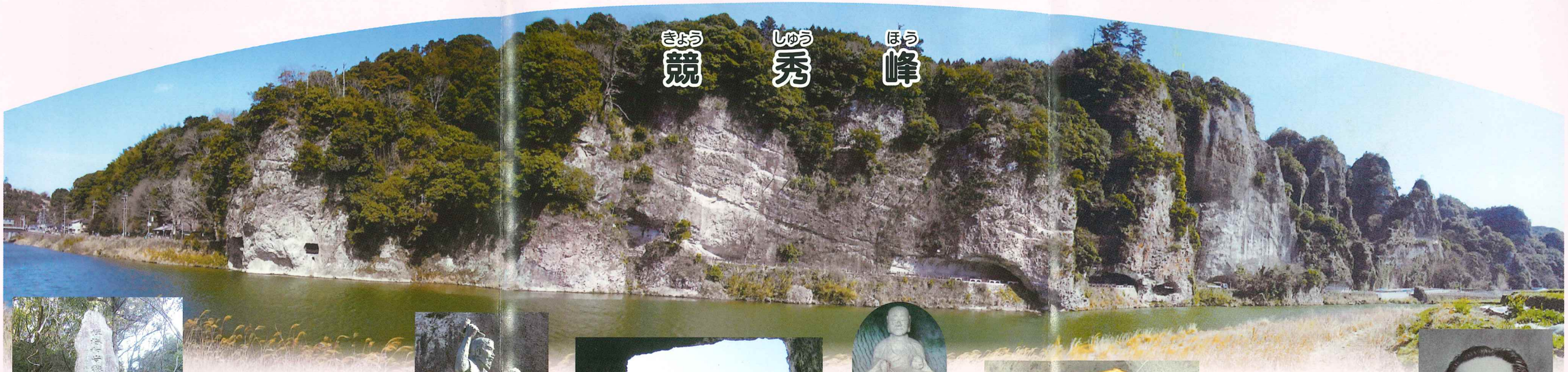
なぜ・・・・

荒瀬井堰



当時の中津藩主、小笠原長胤侯が藩内の田畑を潤すために、荒瀬井堰を作った。そのために、上流の水位が上がり、川原道が通れなくなり、「鎖渡し」を通ることになった。

耶馬渓橋～荒瀬井堰～青の洞門～羅漢寺橋





禅海和尚鑿道碑

和尚の偉業をたたえて大正14(1925)年に建てられました。



禅海和尚像

青の洞門を穿つこと30年。



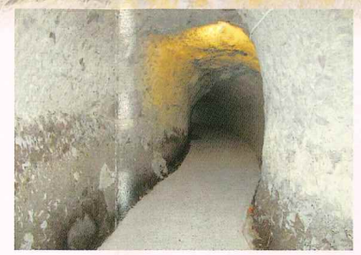
明かり取りの窓

明かり取り窓から見た対岸の景色。



法界地蔵

寛延3(1750)年に禅海和尚により安置された地蔵です。



手彫り洞門

当時の手彫りのノミの跡が一番残っています。



福澤諭吉

競秀峰を守ったナショナルトラスト運動の先駆者。



荒瀬井堰

元禄2(1689)年に完成し、約330年を経た今も田畑を潤しています。



犬走り

川床の岩が犬の形に似たものが多かったので、犬走りと呼ばれています。

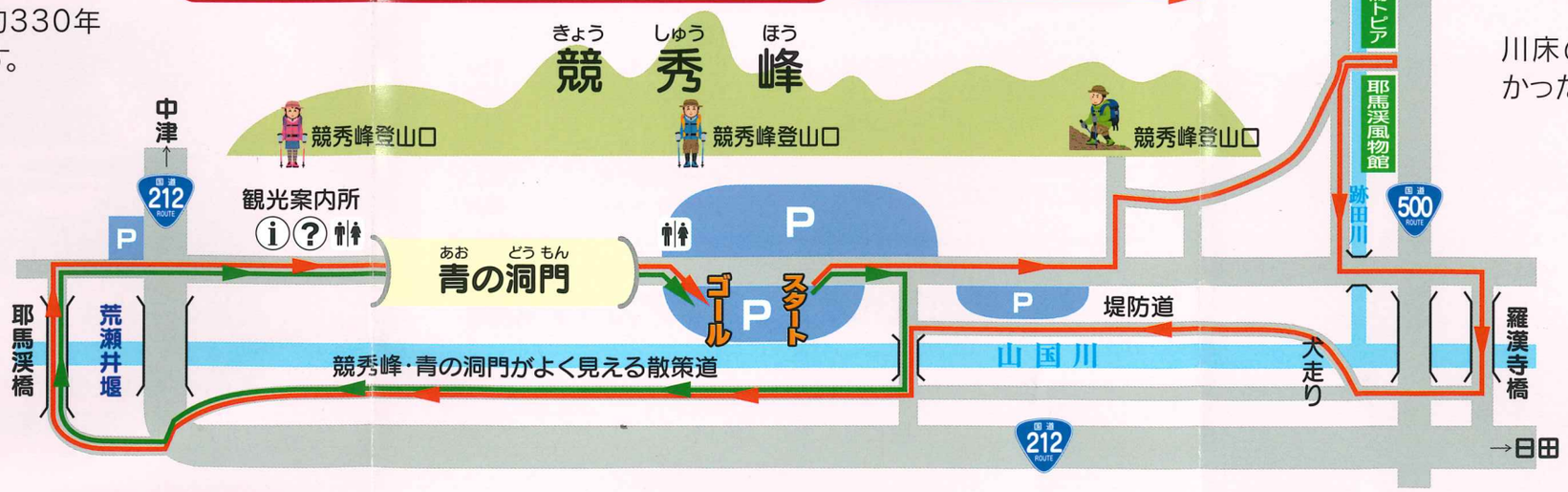


耶馬渓橋

大正12(1923)年に誕生した日本一長い8連の石橋です。オランダ橋とも呼ばれています。

ぶらり散策洞門周辺

1時間コース(約2km)
2時間コース(約4km)





羅漢寺橋

大正9(1920)年、山国川に架けられた耶馬三橋の中で一番最初の石橋です。